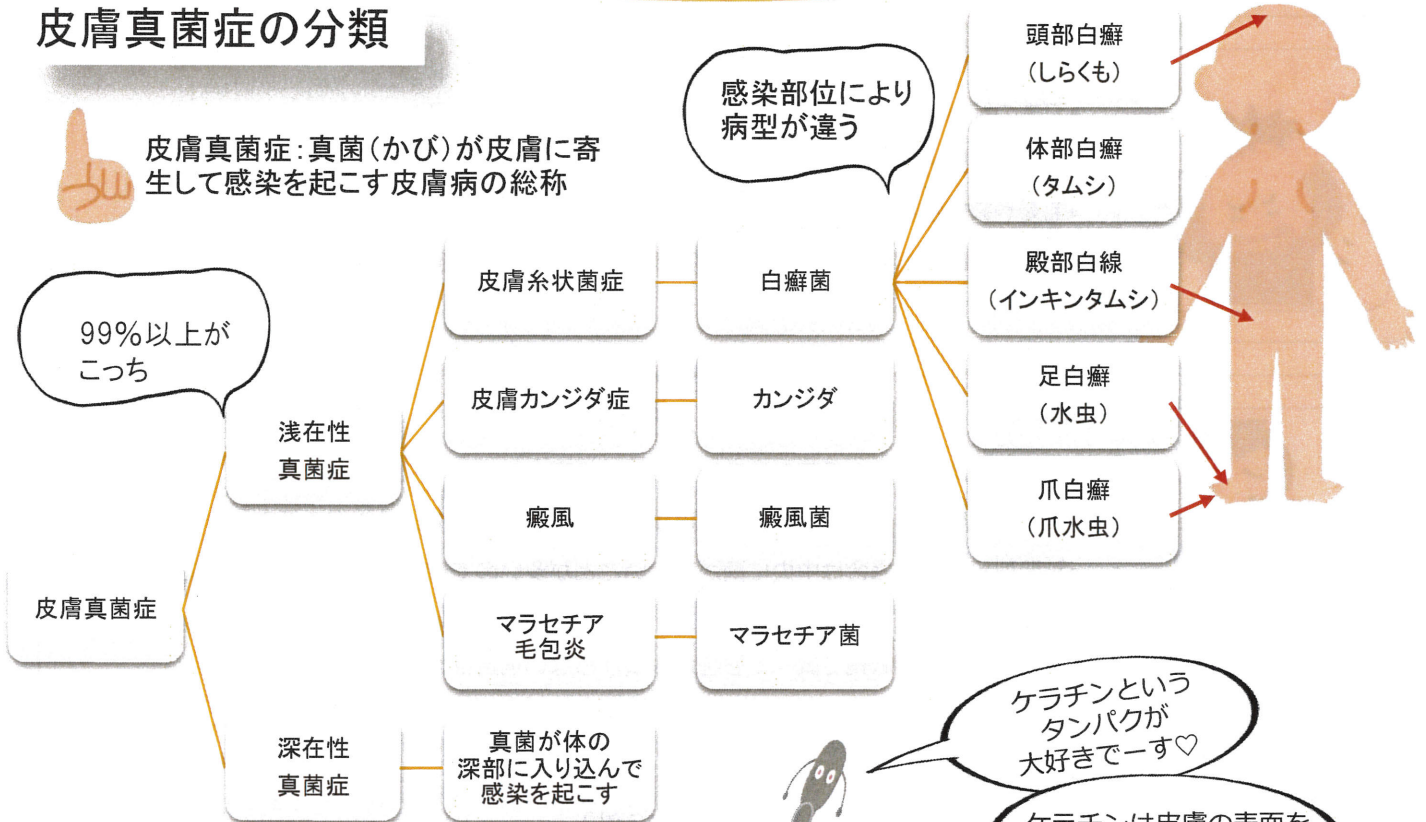


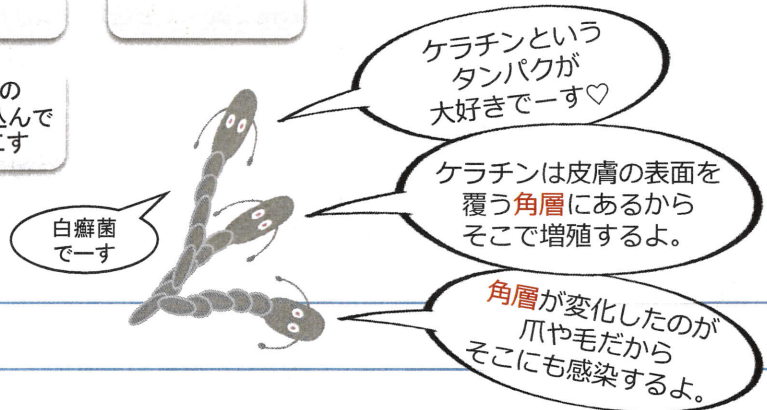
# 「皮膚真菌症」をきちんと知りましょう

水虫・爪水虫・タムシ・インキンタムシ・しらくものことだよ～

## 皮膚真菌症の分類



## 白癬菌の特徴



✓浅在性真菌症の代表菌

✓国民の20%が感染しているといわれる

✓角化した皮膚(表皮角層、爪、毛髪のケラチン組織)に寄生する

✓感染すると、菌が増殖し、皮膚に鱗屑(りんせつ)、紅斑(赤み)、ひび割れ、じゅくじゅくとした感じなどの見た目の変化が起き、かゆみを伴うこともある

✓白癬菌が原因でも、感染する場所により呼び方が違う

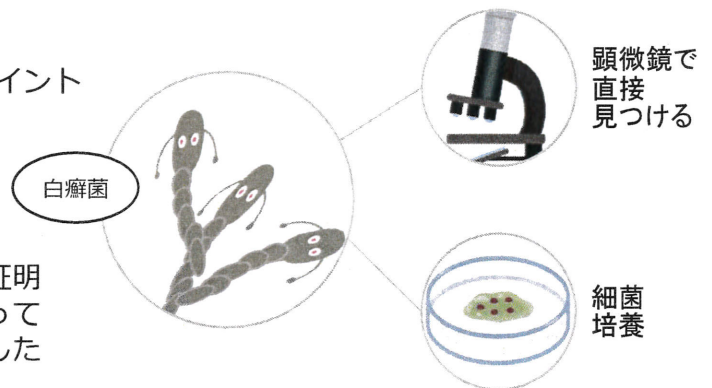
✓症状があるとき、「白癬菌」が原因がどうかをきちんと調べて治療する必要がある

↓

病変部に菌がいることを証明するのがポイント

## 白癬菌の検査

直接患部から皮膚を採取して顕微鏡で白癬菌を証明する方法と、培地(菌が増殖しやすい栄養の入っている寒天)に採取した患部の皮膚を塗布し増殖した菌を証明する方法があります。



# 白癬菌の検査のポイント



菌がいる部位から検体を採取すること  
菌が見つからなければ違う原因の可能性

\* 鱗屑：表皮の角質が肥厚し剥離（はくり）したもの



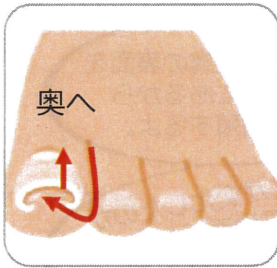
## 頭部白癬

- 刃先の鈍ったメスで患部をこすり鱗屑（りんせつ）\*を採取
- セロハンテープを押し付けて採取してもよい
- 毛髪や鱗屑から菌が検出されない場合、培養検査を行う
- 培養検査にはヘアブラシ法（ヘアブラシで軽く10回程度こする）が有用



## 足白癬

- 小水疱があれば、水疱蓋を鉗で切り取り、検査する
- 小水疱が発見できないときは、水疱が破れて辺縁についている鱗屑を採取
- 趾間型足白癬の場合は中央に菌がないことが多いので皮膚から完全にはがれていない鱗屑を検査する
- 2、3回直接顕微鏡で調べても菌が見つからない場合は、他の疾患が疑われる



## 爪白癬

- 一番多いのが爪の先もしくは辺縁部から侵入
- 足白癬病巣の角層から爪床を伝わるように侵入、爪の基部に向かって増殖
- 爪が伸びるとともに爪の先に移動するが、栄養状態が悪いため変性する
- 爪切りで爪甲剥離部位や爪の先を除去してできるだけ正常部に近い爪病変部の皮膚側を採取
- 白癬菌（-）の場合は爪白癬ではない

# 白癬菌の治療

表在性白癬菌には塗って治す抗菌薬外用が有効

爪白癬は内服薬が第一選択だが外用薬も保険適用となっている

爪白癬の治療は足白癬の治療もいっしょに行う必要がある



白癬菌は足→爪、爪→足へと広がります

## ポイント

「皮膚真菌症」といってもたくさんの種類があります。  
中でも一番感染率の高い白癬菌は患部から菌を証明することが重要となります。  
自分で判断せずに専門医で検査してもらいましょう